

国際セミナー「鉄道整備と沿線開発」
運輸総合研究所 宿利正史 会長 開会挨拶

Selamat pagi, bapak dan ibu sekalian.

Nama saya Msafumi Shukuri, Ketua Japan Transport and Tourism Research Institute.

Saya pernah tinggal di Jakarta, Indonesia, hanya selama tiga tahun dari 1984 hingga 1987, sebagai Ist Secretary Kedutaan Besan Jepang.

Namun, bahasa Indonesia saya kurang baik untuk kata sambutan dalam bahasa Indonesia.

Izinkan saya menyampaikan sepatah dua patah kata dalam bahasa Jepang.

本日の国際セミナー「鉄道整備と沿線開発」に、インドネシアの皆様、インドネシア在住の日本の皆様など、多くの皆様方にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

まず最初に、ご多忙の中、ヘル インドネシア運輸省鉄道インフラ局長、石井正文 駐インドネシア特命全権大使閣下、日笠弥三郎 国土交通省大臣官房審議官のご臨席を賜り、後ほどご挨拶を賜りますことに、厚く御礼申し上げます。

また、本日のセミナーの開催に当たりまして、多大なるご支援・ご協力を賜りました、インドネシア 運輸省、在インドネシア日本国大使館、日本の国土交通省、JICA、在インドネシアの日本人商工会議所でありますジャカルタ・ジャパン・クラブなどの皆様方及び私たち運輸総合研究所の活動に特別の支援をいただいている日本財団に対しまして、心から感謝申し上げます。

ASEAN の主要国であるインドネシアと日本は、黒潮でつながる文化交流圏を通じて、大変古くから交流があったと伝えられておりますが、今日では、民主主義等の基本的価値を共有する戦略的パートナーとして、経済関係においても、人的交流においても、大変深いつながりを有していることは、私が改めて申し上げるまでもないところであります。

インドネシアの運輸交通分野についてみますと、私が当地の日本大使

館在勤中に力を入れて取り組んでおりましたジャボタベック圏鉄道近代化事業、スマラン港整備事業、バリ国際空港拡張事業などをはじめ、これまでに多くの重要な交通インフラの整備が日本とインドネシアの協力のもとに行われております。最近では、インドネシアで初めての本格的な都市鉄道でありますジャカルタ都市高速鉄道 MRT・南北線のフェーズ I が昨年 3 月に開業し、引き続き南北線フェーズ II の北部延伸事業や MRT 東西線フェーズ I の基本設計が行われるほか、ジャワ北幹線鉄道整備事業、パティンバン新港の建設事業が進むなど、運輸交通分野においては両国間の緊密・良好な協力・連携の実績は枚挙にいとまがありません。

また、日本と ASEAN はこれまで、アジア太平洋地域の平和と安定、発展と繁栄のために、緊密な協力関係を築いてきており、このような中で、今般、ASEAN の活動の中心拠点であるジャカルタにおいて開催する本セミナーは、日本と ASEAN との緊密な協力関係のもとで行われるものであり、かつ、ASEAN 連結性の強化に資するものであることを強調しておきたいと思えます。

さて、本日のセミナーのテーマである「鉄道整備と沿線開発」は、ASEAN 各国に共通する重要な政策課題であると考えており、鉄道の整備と連動させて、計画的に駅周辺及び沿線の都市開発を行うことは、鉄道の整備効果を社会的にも経済的にも著しく高めるとともに、これによって生ずるバリュー・キャプチャーを鉄道整備の財源として活用することもまた可能となります。

セミナーの前半では、当研究所の元所長であり、現在でも研究アドバイザーである政策研究大学院大学教授の森地茂政策研究センター所長に基調講演をお願いし、引き続き、森地所長を委員長として当研究所で取り組んでいる「鉄道整備と沿線開発に関する研究会」の成果を、当研究所の武藤主任研究員から報告します。

後半のパネルディスカッションでは、ウミヤトウン インドネシア運輸省研究開発庁長官、ロビー インドネシア運輸省企画局長、また長年にわたる私の信頼する友人でありますスタント インドネシア大学教授・前ジャカルタ首都特別州知事補、そして森地所長にご登壇いただき、政策研究大学院大学日比野直彦准教授をモデレータとして、インドネシ

アにおける鉄道整備と沿線開発の課題や将来展望について議論していただきます。

主催者といたしまして、本日のセミナーが、ご参加いただきました皆様方それぞれにとりまして有益なものとなり、インドネシアにおいて今後の鉄道整備と沿線開発が調和のとれた形で展開される一助となることを期待するとともに、日本とインドネシアの友好協力関係の一層の進展に少しでもお役に立てるものとなることを強く希望しております。

Terima Kasih banyak.

以 上